

国際先導研究 審査結果の所見

課 題 番 号	22K21352
研 究 課 題 名	植物生殖の鍵分子ネットワーク
研 究 代 表 者	東山 哲也
研 究 期 間	令和 4 (2022) 年度～令和 1 0 (2028) 年度
科学 研究 費 委 員 会 国際科学研究費第二部会 における所見	<p>【研究の概要】</p> <p>植物において、生殖系列の形成から個体発生に至る一連の素過程は、それらの遂行に働く重要な鍵分子群によって支えられている。これらの過程の飛躍的理解に向け、本研究課題では、鍵分子群が構成するネットワークを対象に、分子科学と大規模データ科学の両面から融合的アプローチを推進する。そのため、四つの重要課題を設定し、研究代表者を中心に、関連分野で活躍する国内5大学の10名のPI並びに海外6か国20名あまりの研究者による七つのテクノロジーユニットを設置し、強力な国際連携体制を構築する。この体制の下に、多数の若手研究者を交流させ、研究推進と併せて次代を支える若手研究者の育成を目指す。</p>
	<p>【学術的意義、期待される成果】</p> <p>植物の生殖及び恒常性維持に関する研究は、農学分野における最重要課題の一つであるだけでなく、食糧問題・エネルギー問題に関連する点においても極めて意義深い。また、本研究において、鍵分子を中心とした分子解析と、フィールドにおける大規模データが情報科学の技術により統合されることによって、植物個体（群）を制御する分子ネットワークの全貌解明に近づく。</p> <p>多数の学生・ポスドクが主体的に参画し、国際交流することによって、異分野融合と新たなコミュニティ形成を通じた若手人材の育成が期待される。</p>